

介護保険高額介護サービス費の過少支給について

1 概要

介護保険では介護サービス等の1か月あたりの自己負担額の合計額が一定の上限額を超えた場合、その超えた額を支給する制度として高額介護サービス費がありますが、高額介護サービス費の算定において、公費負担医療対象の介護サービスに係る自己負担額を、システム上含めずに計算していたため、高額介護サービス費を過少に支給していたことが判明しました。

なお、同様の事象が多くの自治体で発生しています。

【例】利用者負担割合：1割 利用者負担上限額：44,400円の場合

		10割			
		9割		1割	
介護サービス	公費負担の有無	費用総額	保険給付額	公費負担額	利用者負担額
①訪問介護	なし	300,000円	270,000円	0円	30,000円 (A)
②通所介護	なし	200,000円	180,000円	0円	20,000円 (B)
③訪問看護	あり	100,000円	90,000円	7,500円	2,500円 (C)

誤った算定：30,000円 (A) + 20,000円 (B) - 44,400円 = 5,600円

正しい算定：30,000円 (A) + 20,000円 (B) + 2,500円 (C) - 44,400円 = 8,100円

2 原因

システム上の誤りにより、公費負担医療の適用後に生じる利用者負担額（上記 (C) の 2,500 円）を含めずに高額介護サービス費を算定する仕様になっていたことによるものです。

3 対象者（暫定値）

実人数：50人 延べ件数：389件 追加支給金額：711,563円

算定対象期間：令和2年5月から令和4年1月利用分

※ システム改修を行い、令和4年2月利用分からは正しく算定しております。

また、現在、高額医療合算介護サービス費について対象者の調査をしております。

4 対象者への対応について

対象者に対し、お詫びと追加支給についてご連絡をしており、支給手続きを進めております。

5 再発防止に向けて

今後、制度改正等に伴うシステム改修を行う際には、支給適用条件の確認等を確実にを行うことにより、再発防止に努めてまいります。

6 その他

国による全国調査の結果、概ね2／3の保険者において同様の誤りが発生していることが報告され、また、都内の自治体では、21区、22市、4町村が誤っているとの報告を受けております。